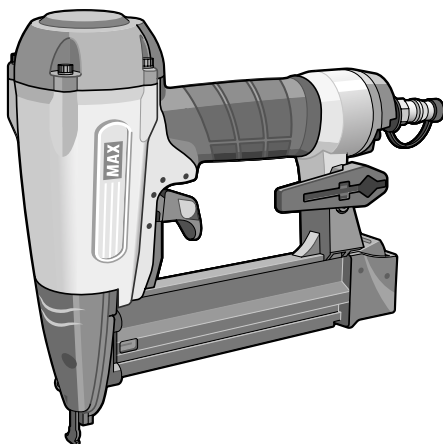


マックス釘打機 ファイニッシュネイラ

TA-235FN3/LU

取扱説明書



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ネイル装填の時は必ずエアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるような保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

*便利メモ

お名前		商品名	TA-235FN3/LU
お買い上げ日	年 月 日	製造番号	
販売店名		☎ () -	

このたびは、マックス釘打機フィニッシュネイラをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

- LUシリーズは、リフォーム等軽作業用に開発されたプロ用商品です。
- 釘打ちをメイン作業とされる方は、TA-225、TA-255シリーズをお買い求めください。

■表示について



この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について



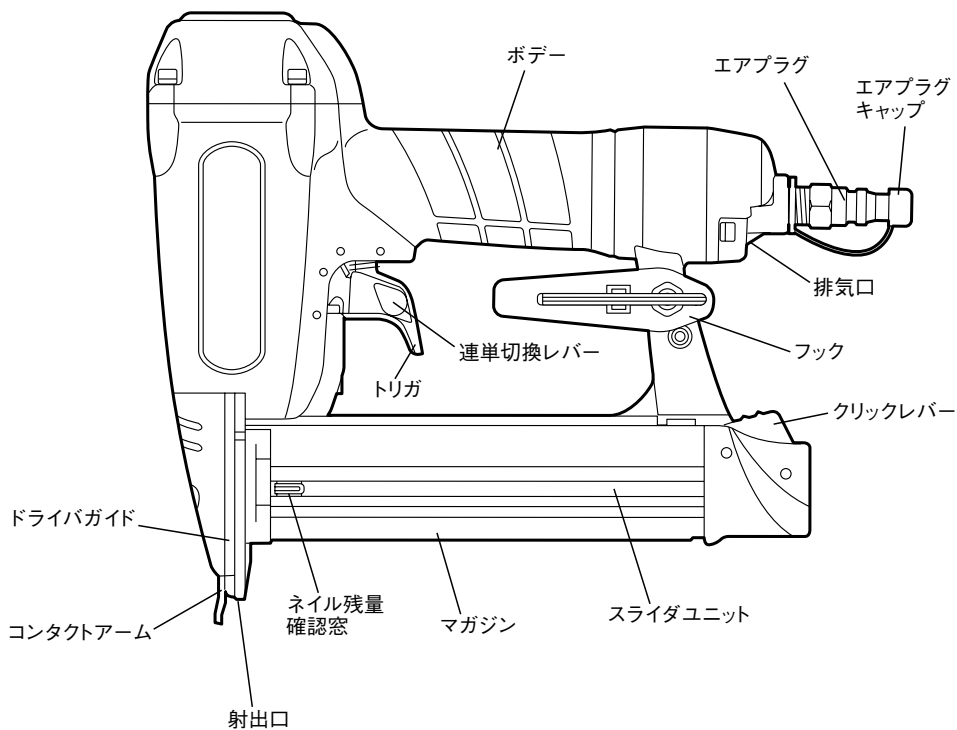
この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目 次

1. 各部の名称	1
2. ⚠安全作業のために	2
3. ⚠安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	11
5. 使用方法	12
6. 配管についての注意	17
7. エアホースの接続	18
8. アジャスタの調整と打込状態の確認	19
9. ネイルづまりの直し方	20
10. 性能を維持するために	21
11. アフターサービスについて	23

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



2 ▲安全作業のために

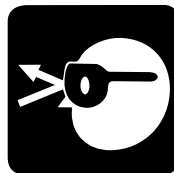
本機は、木材およびそれに類した材料を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

▲ 警告

①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

釘打作業をする時、打ち損じのネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。



②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

②



③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。

③



2 ▲ 安全作業のために

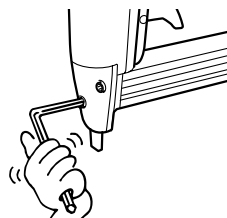
▲ 警告

4 エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)へ点検・修理に出してください。



5 エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

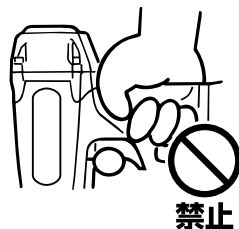
本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。



6 エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガに指をかけない。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。



▲警告

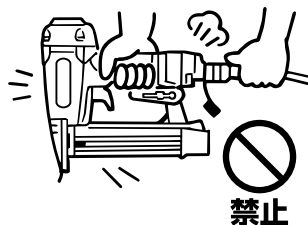
⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。

⑦



⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。

正常に作動しない場合は使用しない。

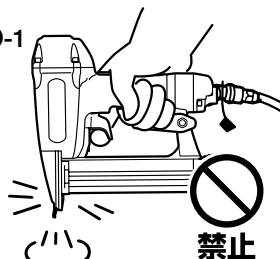
使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続して確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

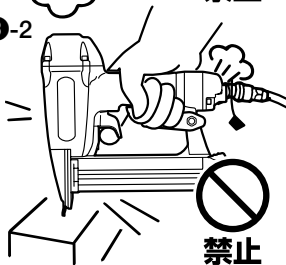
1. トリガを引いただけで、作動音がある。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで作動音がある。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。

⑧-1



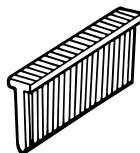
⑧-2



⑨指定ネイルを必ず使用する。

指定されたネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のネイルをご使用ください。(11ページ参照)

⑨



2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

⑩ 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

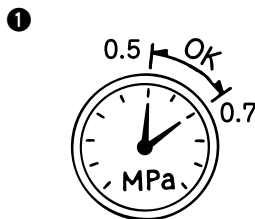


作業中

▲ 警告

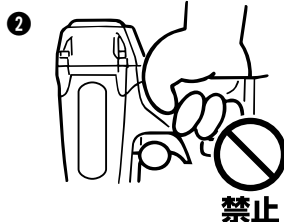
① 使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は0.5～0.7MPa（約5～7kgf/cm²）です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。0.7MPa（約7kgf/cm²）を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。



② 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。



③ 射出口を絶対に人体に向けない。

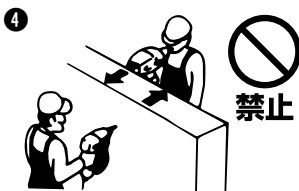
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。



▲警告

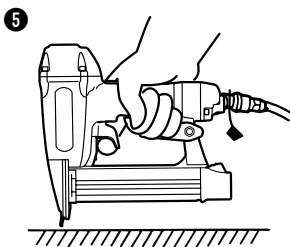
④ 向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。



⑤ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったネイルや木の節などに当たった場合ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。



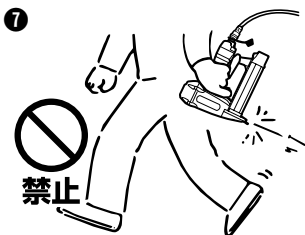
⑥ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。



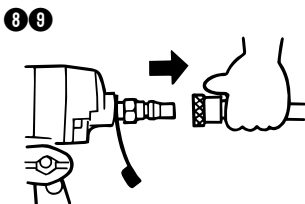
⑦ 移動する際は、必ずエアホースをはずす。

エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずエアホースをはずしてください。



⑧ フック使用の時は、必ずエアホースをはずす。

フック使用の時は、必ずエアホースをはずしてください。



⑨ 作業中断時は必ずエアホースをはずす。

作業中のネイル装填、調整及びネイルづまりを直すときは誤ってネイルを発射すると危険ですから、必ずエアホースをはずしてください。

2 ▲ 安全作業のために

▲ 警告

⑩異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。

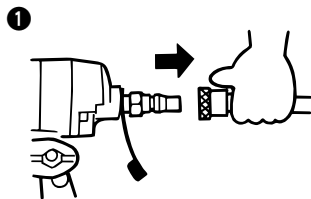


作業後

▲ 警告

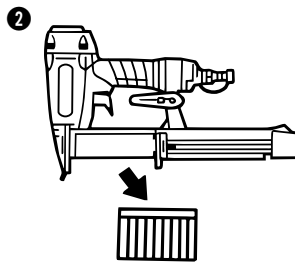
①作業終了時には必ずエアホースをはずす。

作業終了時には、必ずエアホースをはずしてください。



②作業終了時には必ずネイルを抜き取る。

ネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のネイルを抜きとってください。



③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

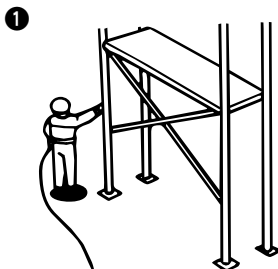


屋外作業について

▲ 警告

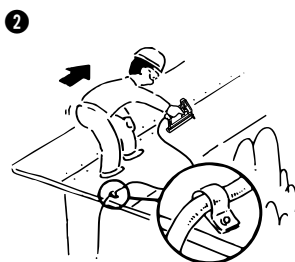
① 足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。



② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれないように注意してください。



③ 直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

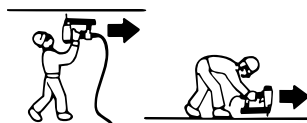


打ち方

④ 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

④ [水平面]



2 ▲ 安全作業のために

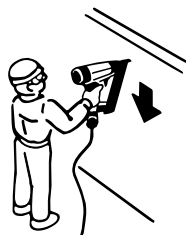
▲ 警告

⑤ 垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⑤〔垂直面〕



⑥ 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

⑥〔傾斜面〕





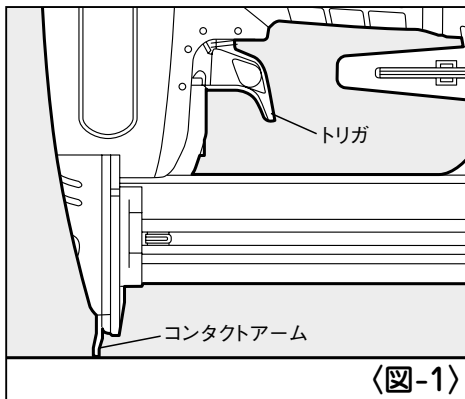
▲ 安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なってはじめてネイルは発射されます。

〈図-1〉



〈図-1〉

▲ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか確認してください。ネイルを装填しないでエアホースを接続し、確認してください。

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がる。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がる。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)に点検・修理に出してください。

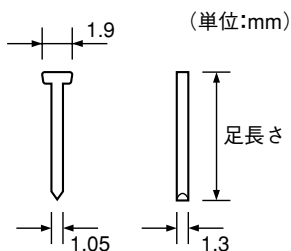
4 仕様及び付属品

商 品 名	マックス釘打機 フィニッシュネイラ
商 品 記 号	TA-235FN3/LU
バルブ機構	ヘッドバルブ方式
ネイル送り機構	プッシャバネ送り方式
マガジン形式	サイドローディング方式
寸 法	(H) 220 × (W) 64 × (L) 265 mm
質 量	1.0kg
ネイル装填数	100本 (1連)
使用空気圧範囲	0.5~0.7MPa (約5~7kgf/cm ²)
使用ホース	内径6mm以上、長さ30m以内
使用オイル	タービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)
安全装置	メカニカル方式
装 備 品	コンタクトトップ、六角棒スパナ3、フック
付 属 品	ジェットオイル(油入)、保護メガネ

⚠ 注意

- 打込対象物が硬い場合や使用空気圧が低いと適正な打込み状態を得られない場合 (釘浮き等) があります。

〈使用ネイルサイズ〉



足長さ	鉄メッキ カラー	ステンレス
15mm	F15M0カラー	F15M0-S
20mm	F20M0カラー	F20M0-S
25mm	F25M0カラー	F25M0-S
30mm	F30M0カラー	F30M0-S
35mm	F35M0カラー	F35M0-S

※ラインナップは予告なしに変更する場合があります。又、カラーについてはサイズによりご用意している種類が異なる場合があります。お買い求めの販売店様にご確認ください。

5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

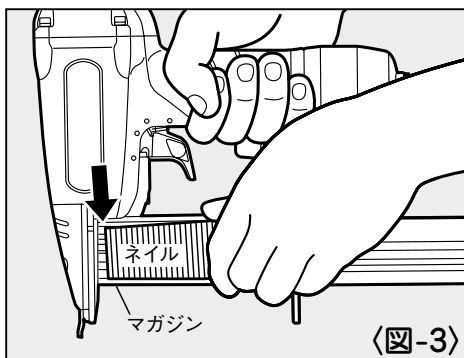
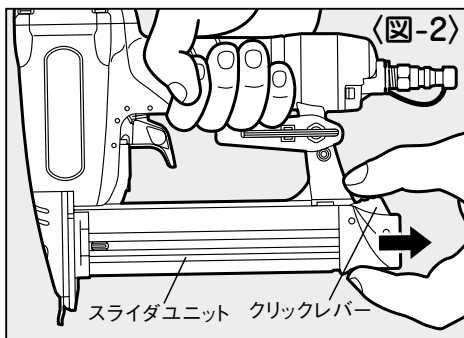
【ネイルの装填方法】

⚠ 警告

- ネイルを装填する時は、必ずエアホースをはずす。

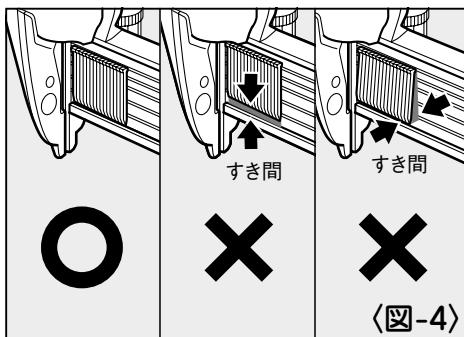
手順

- ①エアホースをはずします。
- ②クリックレバーを押しながら、スライダユニット後部の突起に指にかけて、止まるまで静かに引き出します。 <図-2>
- ③マガジン内にネイルを入れます。この時、ネイルの足先をマガジン下部に合わせるように装填してください。 <図-3>



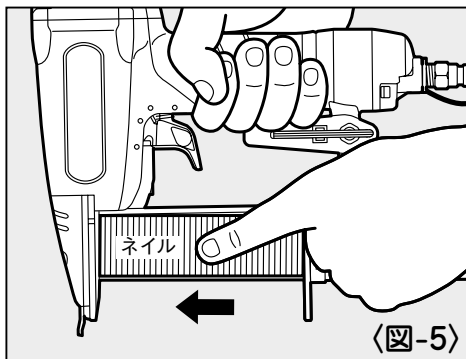
⚠ 注意

- ネイル足先にすき間があるままスライダをセットするとネイル詰まりや本機の故障の原因となります。 <図-4>
- 足長さの違うネイルを同時に装填しないでください。
- 本数の少ないネイルを一度に数連装填するとネイル詰まりの原因となります。



- ④マガジン内のネイルを指で射出口内へ送り込みます。 〈図-5〉

- ⑤ネイルを確実にセットして、スライダユニットを閉じます。



【打ち方】

本機は釘打作業の内容によって効果的な使い方ができるよう「単発打ち」と「連続打ち」切換えが打ち方で使い分けできる機構を有しています。

単発打ちの操作方法

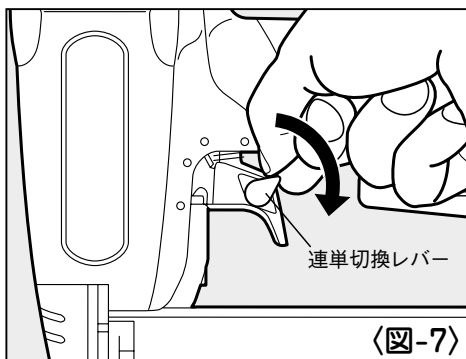
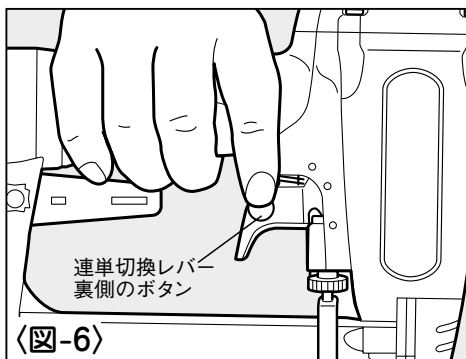
単発打ちとは、コンタクトアーム先端を打込対象物に押し当ててからトリガを引く操作でネイルを1本しか打たない打ち方です。

手順

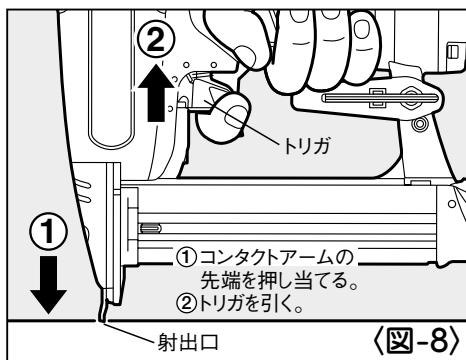
- ①トリガ側面の連単切換レバー裏側のボタンを押しながら切換レバーの尖っている方が下側を向くように回転させます。

〈図-6〉 〈図-7〉

※連単切換レバーは、出荷時、単発打ち用にセットしています。



- ② ネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端をしっかりと押し当ててからトリガを引きます。 〈図-8〉



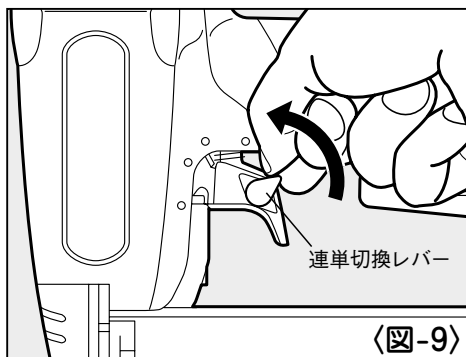
※トリガを引いたままで、再度コンタクトアームを打込対象物に当ててもネイルは発射されませんので、トリガから指をいったんはなしてから、②の動作を繰り返し行ってください。

連続打ちの操作方法

連続打ちとは、トリガを引いたまま打込対象物にコンタクトアーム先端を打ち当てる操作をくり返すことで連続的に釘打作業ができる打ち方です。

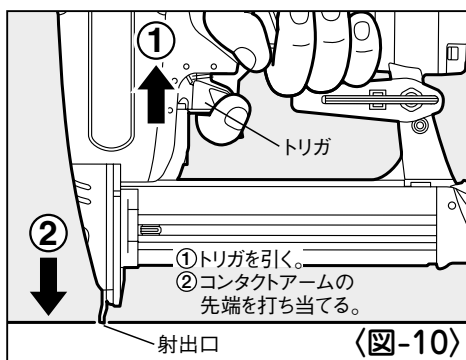
手順

- ① トリガ側面の連単切換レバー裏側のボタンを押しながら切換レバーの尖っている方が上側を向くように回転させます。



〈図-9〉

- ② トリガを引いたままネイルを打とうとする箇所にコンタクトアーム先端を打ち当てます。この操作を繰り返すことで連続打ち作業ができます。 〈図-10〉



〈図-10〉

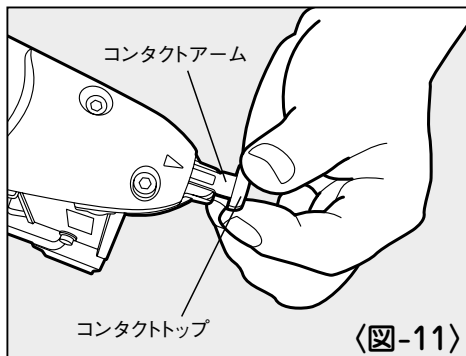
【コンタクトトップの使い方】

⚠ 警告

- コンタクトトップ着脱の際は、必ずエアホースをはずす。

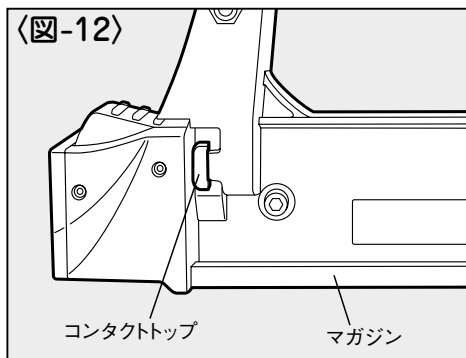
やわらかい部材等を打つ際、表面に傷をつける恐れがある時は、付属品のコンタクトトップをコンタクトアームの先端に取り付けてください。

〈図-11〉



コンタクトトップを使わない時は、マガジン後部に取り付けておくことができます。

〈図-12〉



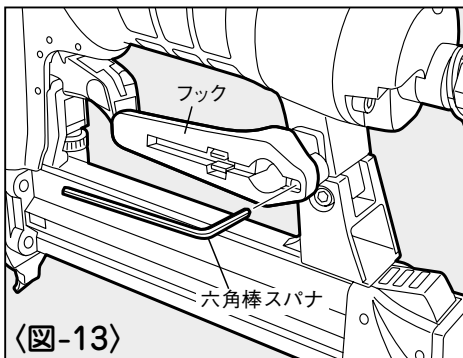
【フックについて】

⚠ 警告

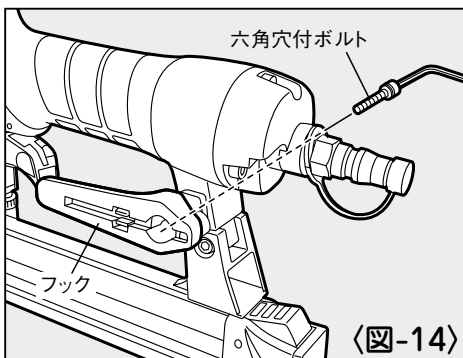
- フック使用時、取り付け、取り外しの際は、必ずエアホースをはずす。

フックは本体右側に取り付ける事もできます。

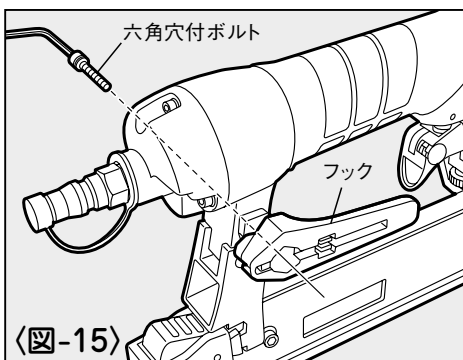
- ①フック部に収納してある六角棒スパナを抜き取ります。 〈図-13〉



- ②六角穴付ボルトを六角棒スパナではずします。 〈図-14〉



- ③フックを本体右側に取り付け、再度六角穴付ボルトを取り付けます。 〈図-15〉

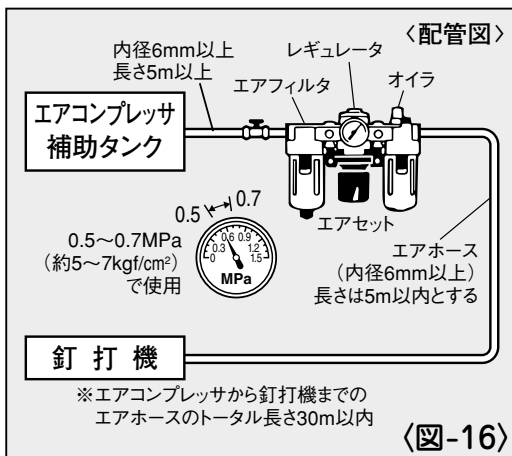


6 配管についての注意

警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- 1 動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）は絶対に使わないでください。
- 2 エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- 3 エアホースは内径6mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径6mm以上、長さ5m以内で使用してください。



7

エアホースの接続

警告

●エアホース接続の時は必ず厳守する。

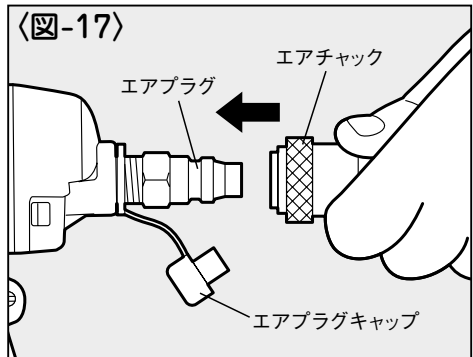
エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.コンタクトアームに触れない。
- 2.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- 3.射出口を人体に向けない。

手順

- 1 エアプラグからエアプラグキャップをはずします。
- 2 エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。

〈図-17〉



警告

●作業中断時は必ずエアホースをはずす。

8 アジャスタの調整と打込状態の確認

本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

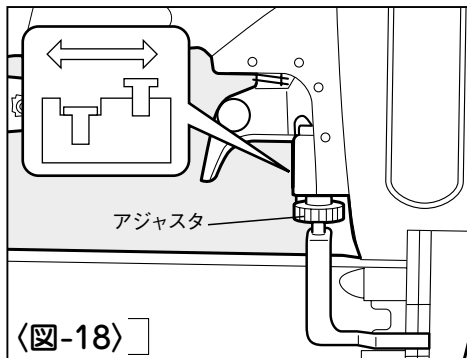
〈図-18〉

⚠ 警告

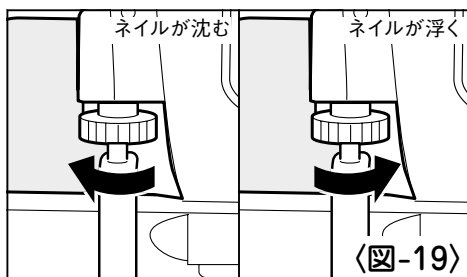
- 調整の時は必ずエアホースをはずす。

手順

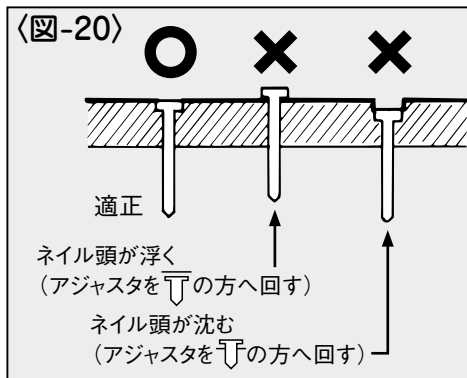
- 1 エアホースをはずします。
- 2 ネイルを装填します。
- 3 エアコンプレッサの圧力を0.6MPa（約6kgf/cm²）にセットします。
- 4 本機にエアホースを接続します。
- 5 アジャスタの調整（ネイルの打込調整）の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- 6 エアホースをはずします。
- 7 ネイルを取り出します。
- 8 アジャスタを回し調整します。〈図-19〉
※アジャスタは10段階で2mmの調整範囲があります。
- 9 本機にネイルを装填します。
- 10 エアホースを接続し、さらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。〈図-20〉
- 11 適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。
- 12 適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。



〈図-18〉



〈図-19〉



〈図-20〉

⚠ 警告

- 0.7MPa（約7kgf/cm²）を超えた圧力では絶対に使用しない。

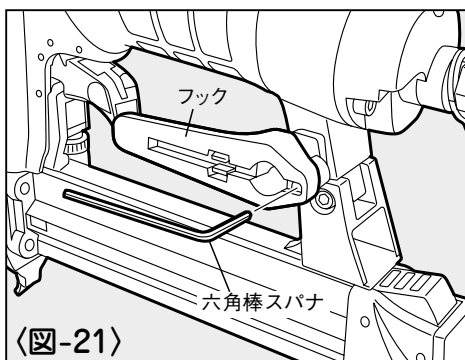
9 ネイルづまりの直し方

警告

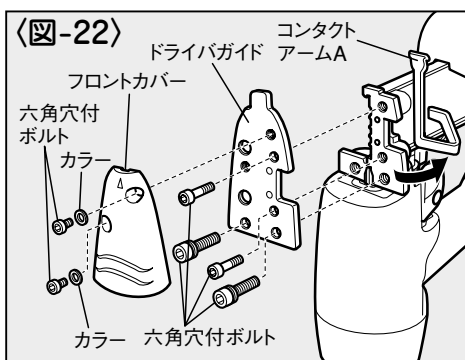
●ネイルづまりを直す時は、必ずエアホースをはずす。

手順

- 1 エアホースをはずします。
- 2 ネイルをマガジン内より抜き取ります。
- 3 フック部に収納してある六角棒スパナを引き抜きます。 〈図-21〉



- 4 六角穴付ボルト2本ををゆるめてフロントカバーを外します。 〈図-22〉
- ※カラーが外れることがありますのでなくさない様にしてください。



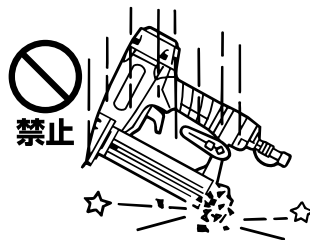
- 5 六角穴付ボルト4本ををゆるめてドライバガイドを外します。 〈図-22〉
- 6 コンタクトアームAを横に倒し、詰まったネイルをードライバなどで取り除きます。

※組み付けは、上記の逆の手順で組み付けてください。

10 性能を維持するために

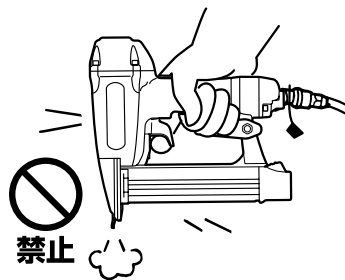
①本機を大切に使う

落したり、ぶついたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶついたり、叩いたりしないでください。



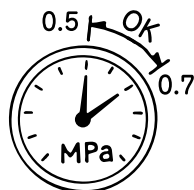
②カラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



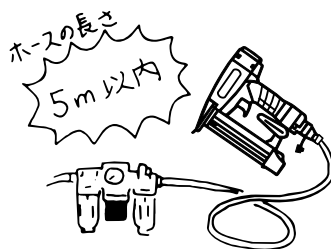
③エア圧力を調整し、使用する。

打込対象物に合わせ、必ず空気圧を調整し使用してください。対象物に対して空気圧が高すぎるまま使用しますと、各部の耐久性が低下しますので避けてください。



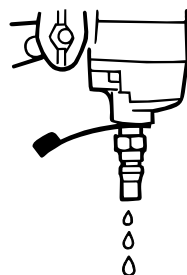
④エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



⑤本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



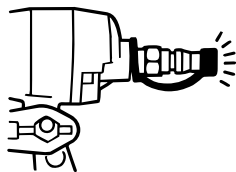
⑥ 指定オイルを注油する

オイルはタービン油2種 ISO VG32 (JIS K 2213)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2～3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



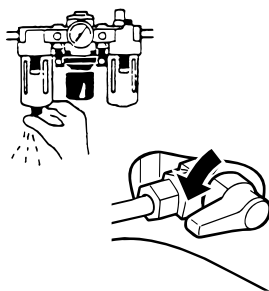
⑦ エアプラグキャップの使用方法

本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。



⑧ エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑨ 定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)にお申しつけください。

11 アフターサービスについて

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスエンジンアリング&サービスファクトリー(株)にご相談ください。

— MEMO —

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.



本社・営業本部 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 TEL(03)3669-8121(代)

支店・営業所

札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL(019)621-3541(代)
新潟支店	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
群馬営業所	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL(027)210-7755(代)
長野営業所	〒399-0033	本上市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297-12	TEL(04)7132-1500(代)
千葉営業所	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
千代田営業所	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
静岡営業所	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6444-2035(代)
滋賀営業所	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6-2-4	TEL(078)367-1580(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL(099)269-5347(代)

販売関係会社

埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL(042)528-3051(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL(076)240-1873(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL(087)866-5599(代)

マックスエンジニアリング&サービスファクトリー(株)

本社・高崎サービスステーション	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
埼玉サービスステーション	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL(048)667-6448(代)
札幌サービスステーション	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487(代)
仙台サービスステーション	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
名古屋サービスステーション	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210(代)
大阪サービスステーション	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)6446-0815(代)
広島サービスステーション	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670(代)
福岡サービスステーション	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。